

長野市外郭団体見直し指針に基づく対応状況について

平成19年4月

団体名	10 (社)長野シルバー人材センター
主な業務内容	高齢者に対する就業の機会の提供
財務状況 (17年度決算)	負債比率(資本に対する負債の比率)は約94%と比較的高いが、固定負債はなく、財務状況の健全性に問題はない。 事業収支は、平成17年度決算で約1,000万円の利益を計上しており、収益状況は良好である。ただし、当座比率(流動負債に対する当座資産の比率)が約125%と低く、短期の支払資金の確保に課題を抱えている。 会員への配分金は、会員の就業による受託業務収入(配分金収入)をもって充てるため、事業収支での損益は発生しない。 管理費等を賄うための収入(収入合計から配分金収入を除いたもの)のうち、市及び連合会の補助金が全体の約35%を占めており、補助金への依存度は高い。
団体の課題	指定管理者制度の導入によって市からの受託業務量が減少したことや、今後、全国のシルバー人材センターの増加によって国庫補助金の減収が見込まれるため、更に営業活動を強化することが必要である。

長野市外郭団体見直し指針(各団体個別事項)〔平成18年11月1日付け通知〕		外郭団体の対応(平成19年3月現在)	市関係部局・補足事項
統廃合、法人形態の見直し	存続		
業務範囲の見直し	現状継続		
その他	営業活動の強化	現在、ホームページが開設されていないが、ホームページによって受注可能な業務の紹介を行うことや、インターネットで業務を受注するなど、情報の電子化によって営業活動を強化することが必要である。	平成19年度中を目標にホームページを開設し、業務の紹介や情報の提供を行う。 今後公園管理の指定管理者の募集があった場合には応募し、受注を目指す。 【産業政策課】
外郭団体の経営方針におけるその他特記事項			